

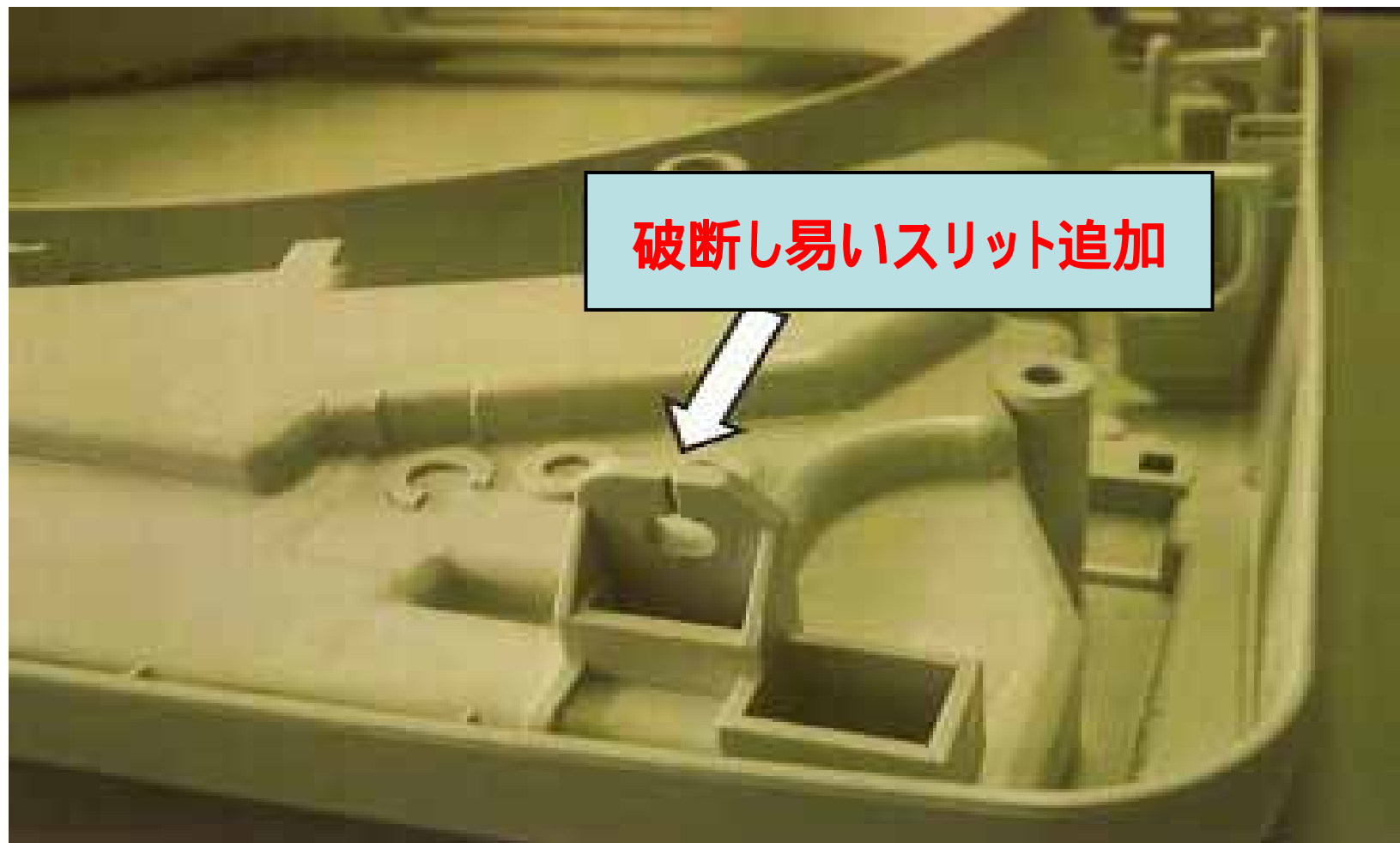


国際的な循環型社会の形成に向けた
我が国の今後の取組について
- 東アジア循環共同体を目指して -
(参考資料集)

- 目次 -

1	環境配慮製品の設計・製造について	2
2	精錬技術を活用した希少金属の回収について	5
3	東アジア諸国でのごみの国民1人1日当たりの発生量予測	8
4	WTO、EPAの動向	9
5	バーゼル条約の枠組み、規制対象物の考え方	10
6	近接性の原則等の国際的な原則について	11
7	二国間協定の概要	12
8	OECDルールの内容	13
9	廃棄物処理法とバーゼル条約の規制対象物の関係	14
10	ブラウン管ガラスカレットについて	15
11	循環資源の管理に対する考え方の相違等からの国際的なトラブルについて	16
12	東アジア諸国における法整備状況	17
13	アジア各国のバーゼル条約批准状況及び再生資源等に関する輸入規制	18
14	アジア各国の循環型社会に係る制度・取組の概要	19

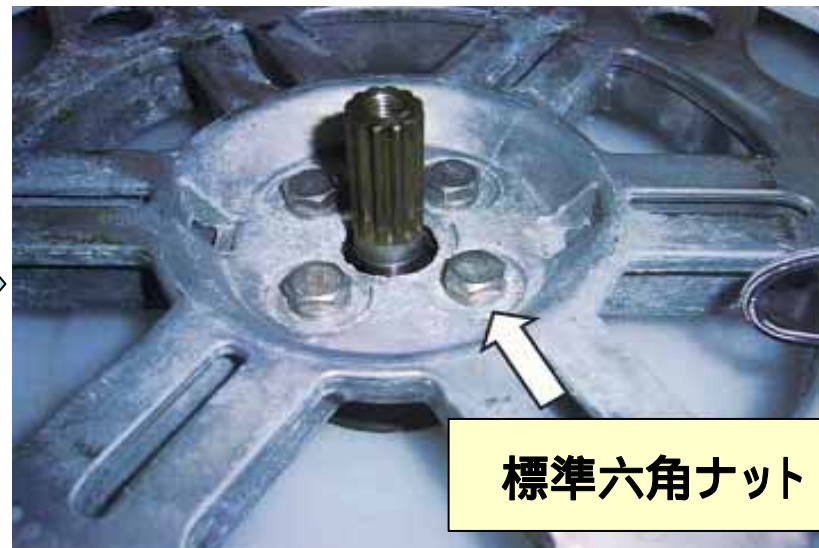
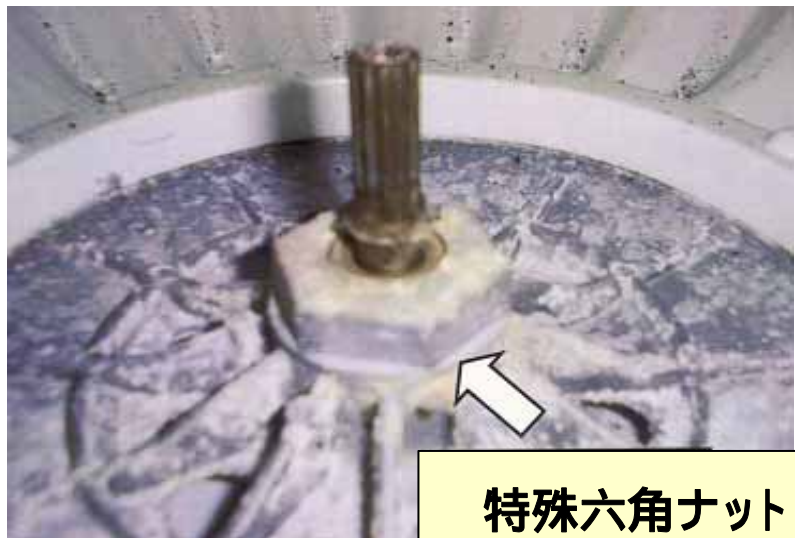
分離し易い設計例



破断し易いように、ハーネス受けに**スリット**を追加

取り付けの改良

洗濯機のパルセータユニットに関するケース



分解のために
特殊サイズの工具を
準備する必要があった

一般の工具で分解ができる

相溶性ラベル(ラベルの同一材料化)

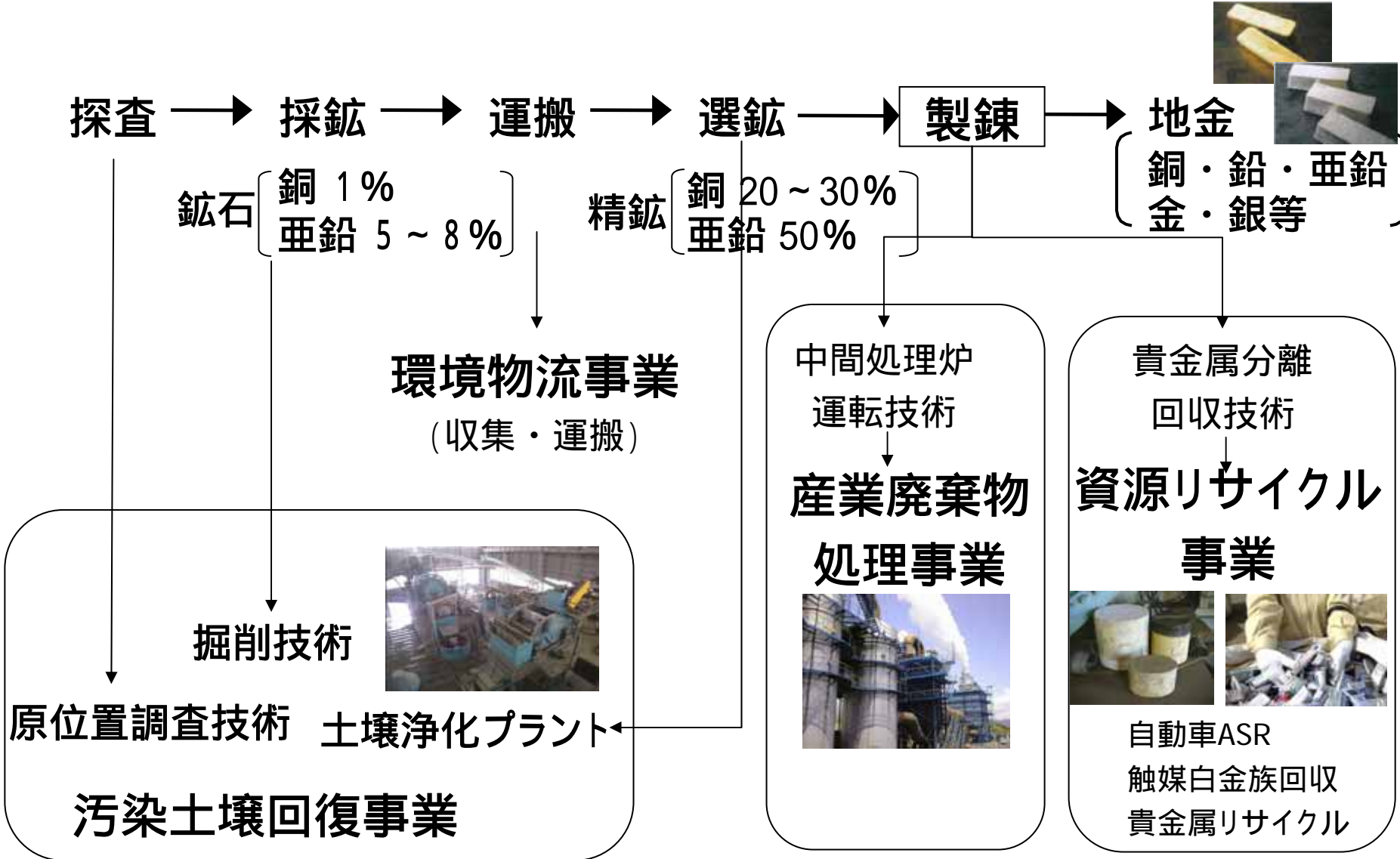


テレビキャビネット操作ラベル
(PS:ポリスチレン)



テレビバックカバー銘板ラベル
(PS:ポリスチレン)

鉱山・製錬と環境事業

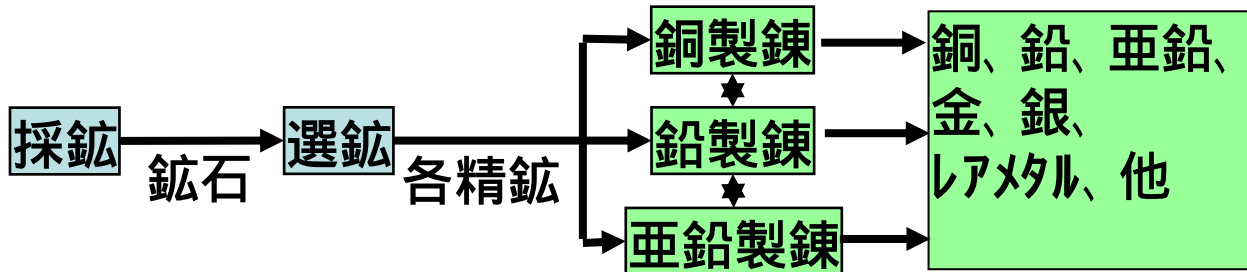


鉱山・製錬と環境事業 ~ 独自の役割

- 原料の組成が複雑
 - 1つの鉱山から複数の有用金属(選鉱工程で各精鉱に分離)
 - 1銘柄の精鉱に複数の有用金属と、不純物を含む(製錬工程で分離)
- 環境負荷物質を取り扱っている
 - 有用金属そのもの(ex. Pb、Cd)
 - 精鉱中の不純物として(ex. As)
- 製錬所では、リサイクル原料から、鉱石(精鉱)原料と同品質の金属を生産

これらを背景に

環境・リサイクル事業において独自の位置・役割：
“リサイクル”におけるアンカー、資源循環ループのジョイント

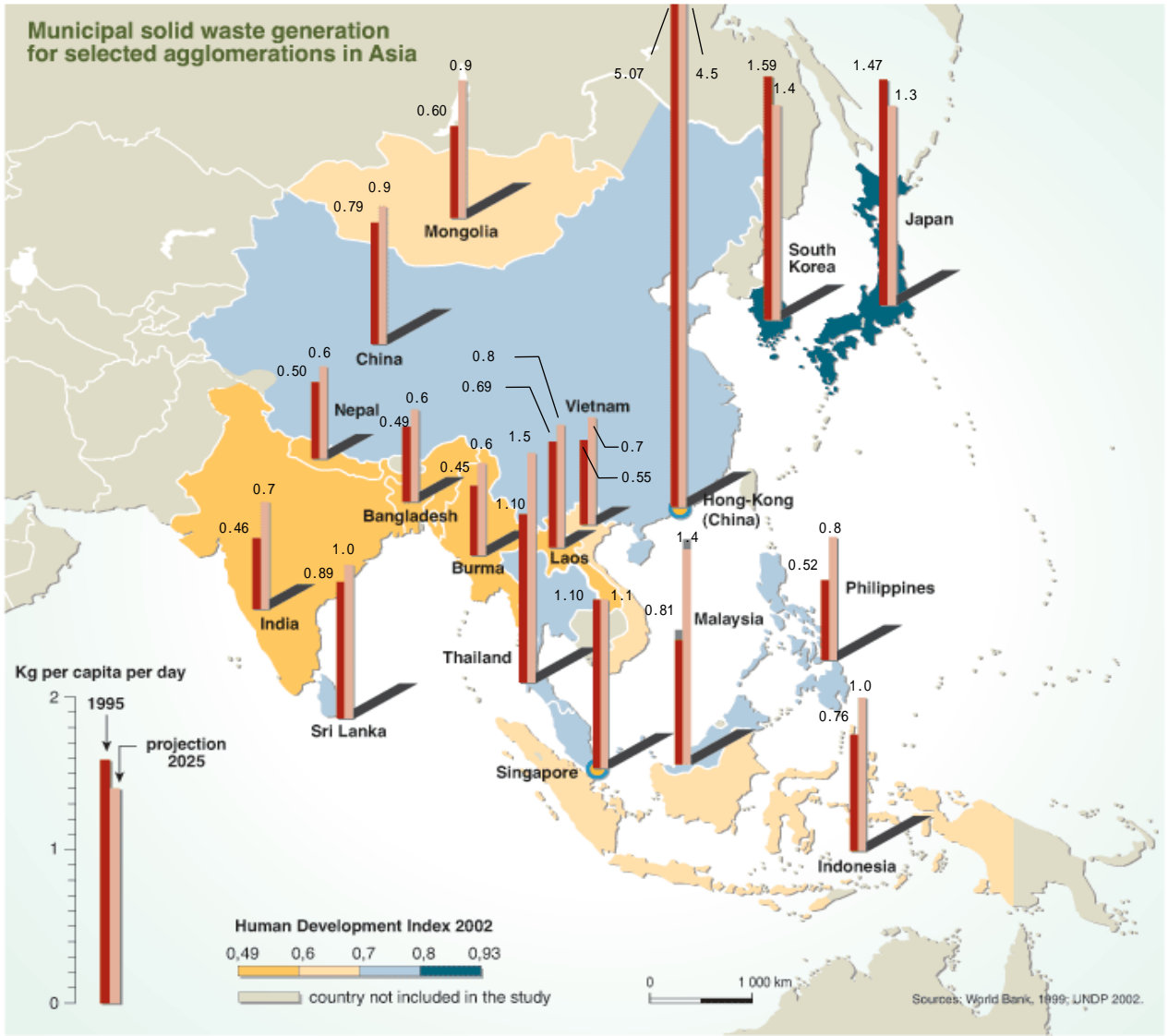


リサイクルネットワーク



3 東アジア諸国でのごみの国民1人1日当たりの発生量予測

東アジア諸国での都市ごみの一人1日当たりの発生量(1995)と将来予測(2025)



出典：バーゼル条約事務局ホームページ資料より作成